

批判的に読むための必要 条件とは何か

ユン・リンダ

目次

1. 問題意識.	2
2. 実践の概要.	3
3. 研究方法.	3
3. 1 インタビュー方法.	3
3. 2 インタビューの質問.	3
4. インタビューの生データ	
4. 1 インタビュー1.	4
4. 2 インタビュー2.	5
4. 3 インタビュー3.	8
5. インタビューの分析	
5. 1 「論文には非論理的点はないという意識」.	9
5. 2 「読み物のテーマと読者の関係」.	10
5. 3 「自分の視点で見る必要」.	11
5. 4 「批判的に読もうと意識しながら、読解する」.	11
6. 結論.	12
7. 参考文献.	13

1. 問題意識

日本語を勉強し始めてから、文法・漢字・聴解・読解、どれかの科目も私にとって難しいが、毎回能力試験を受けるとき、読解の結果が最悪だった。それだけではなく、日本に来てから、様々な授業を受けるが、**Academic reading** という授業は毎週テスト・宿題があり、多くの土日の時間を使っているから、一番印象が残っている授業である。

その授業の課題の中に **A** (要旨・キーワード)、**B** (示唆)、**C** (説得力が足りない・非論理的な部分)、**D** (質問)がある。私にとって **C** の部分が一番難しい。大体内容が分かったのに、**C** の問題を解決するために、何回もテキストを読み返しても、なかなか分からないからである。毎回の課題は長い時間を使ったのに、満足できなく、正しいという自信もなく読解の課題をおわりにする。授業中にも多くの学生が課題について黙っていて意見がない。その授業を受けた学生に聞いてみると、そういう問題がある人が少なくない。

論文、テキスト、雑誌、新聞、特に、インターネットに情報や意見などを様々に書いてあるが、その情報や意見が真か、論理的かどうか、経験・知識に沿って、他の立場の角度から考える必要があると思う。例えば、母国にあるデモに対して、ある新聞が野党の原因で危険なデモを起こすと告発した。その場合、新聞を読む人がそのままの情報を受け取ると騙されてしまうかもしれないから、読者が様々な角度から考える必要がある。なぜ野党の原因で危険なデモを起こすと告発するのか、根拠は何か、根拠に論理性があるかどうか、といろいろな角度から考えてみたらいいのではないだろうか。

福澤 (2012) はクリティカル・リーディングについて次のように説明している。

クリティカルは日本語では「批判的」と訳されることが多いのですが、日本語の「批判的」には一般に、相手に対して否定的で、攻撃的と言うような意味が含まれています。対して英語のクリティカル(**critical**)には、別段、否定的な意味込められているわけではなく、「いろいろな角度から検討する、前提を揺さぶってみる、ほかの考え方をぶつけてみる」など、肯定的で建設的な意味合いが強い。

また、大河内 (2003) は批判的読みについて次のように述べている。

読み手が行う、読み手の自身および書き手との対話という観点から批判的読みを捉えようと、批判的読みには少なくとも3つの側面があると考えられる。すなわち、第一に、自分が文章を理解しているかどうかを吟味して読む、つまり理解モニタリングを行いながら読むという側面である。第二に、書き手の論理の筋道を押さえ、さらに書かれている主張・根拠の論理的妥当性を判断することを意味し、批判的思考力や論理的思考力に基づく批判的読みはこの部分にあたりと考えられる。第三に、別の考え方はないか考えたり新たな課題を生み出すことや、複雑の情報を批判したり、総合することによって自分の考えを含めていくという、生産的な側面に焦点をあてた部分である。

このように批判的に読むために、とりあえず、内容を理解して、自分の経験・知識に沿って、他の立場に、いろいろな角度から考える必要があると考えられる。すなわち、よく読みふりかえり、自分の経験、ある状況・場合、角度から、考えてみることはないだろうか。

そこで、本稿では、**Academic Reading** の授業を受講する学生における批判的に読むための態度や考えについて調査し、その結果をもとに批判的に読むための必要条件について考察する。

批判的に読むための必要条件を明らかにするためには **Academic Reading** の授業を受講する学生にインタビューする。まず、インタビュー内容をわかりやすくするために実践の概要と研究方法を説明する。

2. 実践の概要

- ① 対象クラス：上級レベルの日本語教育実践2014年4月14日～2014年7月28日、全16週、週1コマ（1コマ90分）
- ② 学習者：秋田大学で学ぶ留学生
韓国人（5）中国人（3）台湾人（1）
モンゴル人（1）カンボジア人（1）
- ③ 授業の目的
 - レポートや学术论文等の論説文を読むために必要な文法知識、文章構造に関する知識等を学びながら、各自の専門分野の論文を独力で読んでいくための基礎的読解力を身に付ける。
 - 内容を的確に把握したり、自分の考えを相対的にとらえたりできるようになることである。
- ④ 授業の仕方：

授業の前に読解を読んで予習して、当日の授業のとき、最初のことはテストをし、次は当日の読解の部分の発表に担当するグループが発表する。発表した後で、聴衆が質問する、コメントするなどし、先生が発表をまとめる。次、先生が以前の課題を集め、次の読み物を読ませて、新しい課題をさせて、授業を終える。課題とは、読解を読んでから、別の質問の資料に記入するものである。課題は四つの部分、A（今回の部分の要旨／今回の部分の理解に必要なキーワードとその意味）、B（今回の部分が示唆すること）、C（興味深い／刺激を受けた点とその理由・もっと知りたい点とその理由・説得力が足りないので同意しない点とその理由／どのようによくなる・非論理的／筋が通らないので同意しない点とその理由／どのようにしたらよくなる）、D（今回の部分について質問したい／意見交換したい／分からないこと）を分けられる。その授業では、Cのところは実際の自分の意見、経験、状況などに沿って、テキストの内容と違うところを批判する。

3. 研究方法

テキストを読み、内容のままに受け取るのが簡単だが、批判的に読むのが難しい。そこで、本稿は、批判的に読むための必要条件を研究の目的とする。そのため、一人ひとりの学生の学習法の経験を詳しく聞け、インタビューを研究方法として選択した。インタビュー相手は秋田大学の Academic Reading の授業を受講する学生にインタビューする。その授業を受講する3人の学生にインタビューにする理由は授業中に批判的に読む経験があるからである。

3.1 インタビュー方法

半構造化インタビューで得られたデータを分析した。インタビューし易くするために、Academic Reading の宿題の C（興味深い／刺激を受けた点とその理由・もっと知りたい点とその理由・説得力が足りないので同意しない点とその理由／どのようによくなる・非論理的／筋が通らないので同意しない点とその理由／どのようにしたらよくなる）の部分を実験的に読むことのサンプルとしてインタビューした。

3.2 インタビューの質問

学生に対する質問

1. 日本語5-VIIの課題はどう思いますか。
2. 課題は難しいですか。どこが一番難しいですか。
3. 難しいところにはどうやって問題を解決しますか。

4. 課題の C 部分は興味深い点、もっと知りたい点、納得できない点、などがります。その部分はむずかしいですか。
5. その問題を解決するときに、どんな手段を使いますか。説明できますか。
6. 何に基づいて、納得できない点を決めますか。

4. インタビューの生データ

インタビューの生データを分かりやすくなるために、「あ」はインタビューする人、「い」はインタビューされる人という記号にする。

4. 1 インタビュー 1 (韓国人) (Aさん)

あ：日本語 5 の VII の課題はどう思いますか。

い：5 の 7 の課題ね。まあ、毎週やってる分では、これですよ。すいません、見せてもらってもいいですか。あのう、それ、毎週やってるんですけど、そうですね、これ文自体はなんというのかな、こう、A とか B と書く分のやつはすごい、あれだと思います。すごいいいと思います。一度考えさせてこうもっと資料を書く、この分を読ませたりという拝領が集まったいい、資料、課題だと思いますけど、ただ、こう自発核的書くことというはね、やっぱり量が結構ありますから、こう。今、大学生というか、まあ、僕個人としては、やっぱり、ワードのほうが一番

あ：便利。

い：こうやりやすいと思います。こう、自分で書いてジャチ違うなと思ってちゃって修正するときとかもやっぱり、パソコンのほうで修正がきくし、すごい便利点があるかなとおもいます。だから、ワールフルにするかと、そういうの、そういうほうが僕てきに好きだけど、その先生が事実的書かせてるというのは結構意味あることということも思うだよね。やっぱり、漢字は僕ら外国人生としてはうん、特に、中国だと別なんだろうけど、僕韓国とか、モンゴルとか漢字使わない人に、こうやって手で書くのが暗記しやすいから、これも分かるけど、やっぱり、量がある分事実かっくのは結構大変な感じますけど。だから、すごいいい課題だと思うんですけど、ワードの形をとってもいいんじゃないかな

あ：その課題について難しいところがありますか。

い：難しいところな、うーんー難しいところはないと言えないけど、やっぱり、こう示唆するところ、提示するところとか自分の感想を難業に書くとかこういうのがすごい難しいあるんだけど、僕はこの課題にとってこれが一番必要、難しいところが一番必要だ、だから、うんー難しい、示唆する点とか自分の感想とか難しいしなくちゃいけないと思う。それは俺の意見。

あ：えっと、C のところなんですけど、説得力のない点などは難しくない。

い：納得できない点ね。今、インタビュー中、ごめんね。(他の人が聞く)

納得できない点、うんーむずかしい。やっぱり、資料である分、個人的なのはあまりないので、だから、納得できない点というのは僕は今までの授業全部ないんというかな、こう、サンプル資料に入れてる Episode あるんじゃん。Episode 選定そのものが、僕がちょっと納得できないというのが多かったから、うん、だから、それをチャートおしまいじゃない。だから、なんという、ゼン一、C というと、この、僕らが今読んでる資料を書いている人の主張はわかるんだけど、うんー、主張はわかるんだけど、Episode の選定のやり方が極端すぎるの、それはひどいじゃないかなというの、だけとっていて、話し合いにならないなとおもうな。

あ：で、その所を解決するために、どうやってするんですか。

い：えーと、そうだね、そうですね、一番手っ取り場合のは、この僕たちが読む資料を変えるというのを一番手っ取り早い、まあ、まあ、それが難しいですよ、やっぱり、授業は始まっちゃったし、それより正しい資料があるかどうか、わからないしという状況で、だから、俺が今提示した問題は多分どうしようもないことだと思うね。どうしたらよくなるん、僕には、ちょっと分からないな、うんー、資料そのものかいるしか、僕の出した問題には答えなんか、答えがないって感じ。

- あ：で、納得できないところになんかする、する、これをするために何、手段がありますか。行動の手段。例えば、とりあえず、読解を読んで、後で、何を何を。
- い：うんー、納得できない点を見つけづらいという話じゃない
- あ：うん、そうです。
- い：だから、無理やり見つけたために、もう本当にすごい、三回くらい読んで、無理やり見つけられないいけない、いけなくて、本当は納得してるのに、本当は納得してるのに、知らないふりというのもある。うんー、
- あ：で、納得できないところは自分の経験とか、考え方とか、テレビとか見た経験とか、を基づいて、判断、これは納得できないことを判断するのか、何、何を基づいて、その分は納得できないと思いますか。
- い：僕はね、こういう授業のときこう、批判的に何を読むとき、自分の考え方を極力避けようと思う、読むときは、読む、僕が話すときは、それは僕の言葉だから、僕の感情が入れるんだけど。読むときだけは自分の考え、極力、自分の考え読むじゃなくて、この人は何を言いたいのかという、それを中心読んでるから、だから、僕が納得できない点が見つけないな、見つけられないかもしれない、その人がいうてることを、そう、その人がいうてることを、と、その根拠はやっぱり、合ってるじゃない。だから、このテーマは、納得できない、というのは僕の視点で、僕の視点で見ないと、納得できない点って見つけない、みつけない、見つけられないから、うんー、僕は、こう話者の、だから、この書いた人に輸入してにいてるような、だから、ごめん、質問なんだけ、
- あ：えっと、何、何を基づいて、この文を納得できないと思いますか。
- い：だから、僕は、僕は、そういう、こう、話す人の立場で見てるから、納得できないと思う点はほぼないだよね。論理的でないとき、たとえば、このひとはAはAであるべきだというって、その根拠がAはBであるべきだ、そういう理由になっていること、それは話的に合わないじゃない。そういうの以外は僕はあまり、納得できないとかそういうのはないから、自分で自分のこと否定するようなそういう文じゃないと、僕は納得できない点はないです。
 なんとかな、やっぱ、人間気づいつけようと、なんか、こう、いやなところ、無理やりを作り出すのが、すごいうまいじゃない。たとえ、このリモートは長すぎ、あまりながくないでしょう。だから、こう、みる人によって長すぎるかもしれないなというのを
- あ：長かもしれないな、無理やり。
- い：うん、無理やり。これは長いです。そういう感じだね。
- あ：なるほど。
- い：うん、そんなかんじかな。
- あ：で、先言ったのは、なんか、えっと、筆者の示唆する部分大体わかるけど、それは見つけないでしょうね。
- い：納得できない点は見つけない。
- あ：感想のところは大丈夫よね。
- い：感想は大丈夫。あのう、もっと知りたい点、興味深いと思った点、ここ、すごくいい。納得できない点もないと、ちょっと欲しいんだけど、やっぱり、難しいなと思っちゃう。やっぱり、僕が読んでるのが論文、論文じゃなくて、なんか、こう、円説文とか、自分の考えすごい入ってると、けっこう書きやすいんだけど、これって、Episodeの準じてこういう可能性はあるんじゃないかなという程度だから、あまり、じ、が読んでるん文が自分の主張あまり書いてないから、あまりないよね。ほとんど、根拠と実際のEpisodeこれを否定しちゃうと思う。その文全体読み否定ちゃうという感じだから、ちょっと納得できない点は見つけづらい。

4. 2 インタビュー2 (モンゴル人) (Bさん)

- あ：日本語5の7の課題はどう思いますか。
- い：めっちゃ難しい。

- あ：難しい。
- い：はい。
- あ：どんな難しいですか。例えば。
- い：初めはよくわからないとき、予約のこと、よくわからなかった、予約、例えば、この部分はなんか、内容は予約しますね。
- あ：うん。
- い：それはまだ大丈夫だけど。キーワードはちょっと新しい言葉とか完全に内容がわかってないうちに、これ、キーワードを取り出して、出すのは難しい。
- あ：難しい。
- い：取り出したい、出したいなら、知らないこと、全部書きたいけど、いっぱい、だから、どれを選んでよくわからない。
- あ：なるほど。
- い：そうして、示唆することは意味は分かってるけど、書くのはちょっと難しい。
- あ：そうですか。
- で、Cのところは？感想のところ。
- い：感想のところは自分が面白いなと思うところ。書くのは大丈夫だけど、もっと詳しく知りたい点はちょっと難しい。完全にわからないから。
- あ：で、納得できないとその理由はどうですか。
- い：納得できない点はまた、前話してたよね。このテーマの話題は社会に問題についてのそれともコミュニケーションについて、話題について、話してると思ったら、これを書いた人、筆者はもちろん事実的な話を書きますよね。だから、あまり論理的な間違いということはないのに、そこから、なに間違ってると聞くのは難しい。
- あ：そうですね。
- い：また、なんか、人々の考え方も違いますけど、その話題についてよく知らない人は初めて読む人なら、「あっ、そうなんだ。」と思ったとき、もっとなんか、聞く、聞かれるのを難しい。そうなんだって新しい情報あったのに、これから何が間違ってるって聞いたら、ちょっと。
- あ：それは自分全然分からない情報ですから、筆者の、えっと、初めて読むときは筆者の、筆者が言ったことをそのままうけるということですね。
- い：えー、新しい情報としてをうけたのに、なんか、納得できない部分聞かれるのが難しい。
- あ：そうです。なるほど。
- い：それをすごくクロスしているのに。そして、分からないのに、どうやってよいな、よくなるだろうとこの部分にもっと分からない。
- あ：せとく、納得できない点はないですから、どうやってしたいい。。。。
- い：そのまま結構でいいんじゃないみたい。
- あ：そうですね。でも、なんとなく、できますよね。そのところに、納得できない点は何となく課題の中にえっと、書いてますよね。
- い：うーん、筆者のワスカの間違いを見て、それについてちょっと離さない。
- あ：えー、えっと、何、何の間違いですか。
- い：わすかち、そんな小さい間違い、ほとんどのこと、子供たちは筆者の考えから、書いていくといいますが、実は筆者自分の考えだけでは、実際に行っているものについて書いている。だから、それに対して、反抗するのはできない。そこまで能力、知識はない。
- あ：で、その宿題を解決するときはどんな手段がありますか。説明できますか。手段、例えば、納得できないんをみつけるためにはとりあえず読解を読むとか、何を、なにを、するとか。
- い：えっと、とりあえず、その話題についてよく知識を得て、いらせて、よく考えさせた、させたうえで、なんか、二回三回実際にせいせい自分でやって見せない、できない。どのようよいか、私もよくわからない。こういう部分を聞かれたら、誰でもできない。それとも、日本語能力、すごく、能力は上級ではないとダメ。

- あ：そうですね。というのはとりあえず、その、えっと、テキストを理解するべきということですか。
- い：よく理解してるかしてないか、確認してから、やらせたほうがいい。
- あ：なるほど。えっと、自分の経験だったら、その納得できない点は普通は何を基づいて、この分は納得できないなと思ってるのは何を基づいてますか。
- い：と書く理由。納得できないと書く理由。
- あ：うん、例えば、
- い：もしかして、先生は私たちの考えではなんという、私たちどう考えてますか。私たちの考えを取り出すために、これ、これがかいと書いたと思う。
- あ：で、というのはその読解を納得できない点を見つけるため、自分の考え方とか、自分の経験を基づいて、えっと、それは「あ、自分の経験とちょっと同じではない」ということですか。なんか、ちょっと、詳しく、
- い：はい、ということは
- あ：なんか、えっと、その文は納得できないと思ったら、どうして納得できないですか。
- い：納得、ということは、意味は。
- あ：うー、例えば、えっと、例えば、えー先週の紙は健は、健君は実際は健君は健君ですと書いてある。これは納得できない点ですね。先週の
- い：あ、そうですか。
- あ：お、じゃ、それ別に。えっと、例えば、えー、どうしようかな。
- い：私の考えではその納得できない点というのはこのテーマについて、もうしかして、先生は、先生のこう書く理由も研究してるかもしれない。例えば、この話題についてもっと詳しく知りたいとか、みんなさんの考えではどう考えられるのか、これは納得できない点、ほかの視点からどう考える、と考えるべきかとか、と思う。理由は一番難しいよね。
- あ：そうですね。えっと、前学期も、さ、さ、この授業も受けますか。
- い：受けました。
- あ：あ、なんかと自分の技術かという、なんか特別方法ありますか。これを、納得できない点を見つけるため、なんか自分の特別方法がないですか。
- い：ない。完全に読んで、
- あ：うん、読んで、
- い：あ、この辺、この部分、ちょっと変だと思ったところ書かないと、
- あ：大体何回よみますか。これ見つけるのは。
- い：長いから、二回くらい読むかな。
- あ：二階でけ、そうですか。
- い：三回四回読んだら、寝ないでしょう。
- あ：え、でも、私も、インタビューした人でも、三回四回までも
- い：あ、そう。
- あ：そうです。ちょっと小さい部分
- い：すごい長いだったね
- あ：そうですね。
- い：長いだから、まとめは、うまくできない。内容も何が一番大事なのかははっきりわからない。それはちょっと問題かという。長い
- あ：で、方法、自分の方法はただ、何回も読んで、自分の意識は、自分の反応はそれは納得できないという点が出てきます。
- い：納得できない、ちゃんとした、納得できない部分、取り出す、見たこともない。
- あ：そうですか。
- い：はい、ただ、それかもしれない。
- あ：そうですね。かもしれない。

- い：なんか、みんなに受ける、みんなに笑われちゃうだと、どうしようかな、という視点で、なんかみんな、笑われてしまったら、私こう考えたらみんなの考えと違ってたら、どうするという失敗あるから、
- あ：そうですね。ま、私でも、時々そういうことがありますけど、でも、正かというひとつだけではないとおもいます。ま、みんなと違って大丈夫。
- い：そうですね。
- あ：うー、
- い：難しいよね。長いから読むのが、
- あ：えっと、前学期と今学期ちょっと自分はその部分はちょっと楽にできと感じますか。納得できない部分はちょっと前より楽に見つけるのはありますか。
- い：実はなんか、正直に言えば、前学期、今学期のテーマまったくわからないテーマについて異文化コミュニケーションとか、共文化コミュニケーションとか、前は言語学習についてから、私たちにちょっと短な感じ、しかし、今回のテーマまったくわからない部分、なんか、わからない話題についてはっきり知識として無かった話題について話してるから。
- あ：え、そうですか。でも、なんか、健君の、例えば、健君の話だったら、それは私たちの生活の周りの行動じゃないですか。
- い：行動じゃない、でも、はっきり、よくわからない。
- あ：これくらいかな。結論としては自分、えっと、納得できない点は、納得できない点を見つけるためには自分の手段は方法、見つけ方はちょっと簡単に話していいですか。
- い：やっぱ、よく読みますね。よく読んでから、振り替えして。じゃ、よく理解してから。確か、この部分かなという視点で書いたり、かなとおもった。
- あ：はい。

4. 3 インタビュー3 (中国人) (Cさん)

- あ：えっと、日本語5の7についてどう思いますか。感想みたいに簡単に言ってください。
- い：はい、わかりました。この課題には優しい部分もありますし、ちょっと難しい、なんという感じもありますし。たとえば、このキーワードを探すという部分ですね。ここには人々によって探したキーワードが全然違うですから、あのう、ちょっとみんなお互いに確認できますが、難しいですね。あのう、そして、発表する人はあのう、自分とはちょっと違うことのもありますし、これもちょっと、あのう自分が検定できないみたいです。はい、そしてCの部分にはあのう、納得できない点とその理由という部分ですね。ここには先生からもらった資料には、あのう、大体有名な先生が書いたものですから論理的には間違いがないと思っています。そして、自分の考えと、あの筆者の考えがすれ違いがあるかもしれません。ここには納得できない点という、自分の考えだけです。はい。大体。
- あ：むずかしいですね。
- で、えっと、どうかな、最初はこの課題について全部かけるんじゃないですか。
- い：そうですね。最初は課題にはちょっと難しいなと思いました。以前はそのような課題は全然したことないですね。あのう、特に感想の部分日にかいたことがありません。
- あ：で、えっと、普通に読解を読む、普通にテキストを読むときになんか、批判、批判的に、批判的に読むことがありますか。よくしますか。普通
- い：よく。普通ですね。普通は本を読むとき、時々部分の考えもありますし、一般的に考えのこともあります。はい。
- あ：えっと、新聞とか普通の一般に読むときに自分の意見とか、「あ、これは自分、私の経験と違うか」そういう思ったことがありますか。

- い：あります。時に新聞とメーデー、記事についても自分の考えも多いですね。特に、その新聞を書く人の視角と自分の視角が全然違います。メディアの方とか全然認めない、なんかこのような体験もあります。
- あ：その時。えっと、読んで、読むと、自分の反応するのか自分の経験から見ると、これ違うとかということ。
- い：はい、そういうことです。

5. インタビューデータの分析

5. 1 「論文には非論理的点はないという意識」

データ 1 :

い：納得できない点ね。今、インタビュー中、ごめんね。（他の人が聞く）納得できない点、うんーむずかしい。やっぱり、資料である分、個人的なのはあまりないので、だから、納得できない点というのは僕は今までの授業全部ないんというかな

.....

論理的でないとき、たとえば、このひとはAはAであるべきだというって、その根拠がAはBであるべきだ、そういう理由になっていること、それは話的に合わないじゃない。そういうの以外は僕はあまり、納得できないとかそういうのはないから、自分で自分のこと否定するようなそういう文じゃないと、僕は納得できない点はないです。

データ 2

い：納得できない点はまた、前話してたよね。このテーマの話題は社会に問題についてのそれともコミュニケーションについて、話題について、話してると思ったら、これを書いた人、筆者はもちろん事実に話を書きますよね。だから、あまり論理的な間違いということはないのに、そこから、なに間違っていると聞くのは難しい

データ 3

そしてCの部分にはあのお、納得できない点とその理由という部分ですね。ここには先生からもらった資料には、あのお、大体有名な先生が書いたものですから論理的には間違いがないと思っています。そして、自分の考えと、あの筆者の考えがすれ違いがあるかもしれません。ここには納得できない点というと、自分の考えだけです。

考察

批判的に読むのはまず読み物の論理性を考えてみたい。データ1は読む物が個人的な意見ではなく、筆者が事実のことを書かれており、根拠と結論を出すため、論理性は十分、納得できるものだと思われていた。それに、データ2は筆者が事実的なことを書いており、論理性の間違いがあまりなく、非論理的な点を見つけるのが難しいと述べていた。そのような読む物は事実のことを書かれており、論理的なものであり、納得できない点を見つけにくく、批判的にも読みにくい原因となったということがわかる。データ3により、大体有名な先生が書いたものだから、論理的な間違いがないと思っていたような概念があるため、批判的に読みにくくなるということがわかる。芹沢（2004）、「国語・現代文・指導事項として、『理論的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえること』が挙げられていた」と述べた。ここに、評論文を批判的に読解することに対して、ある学生が「文章の矛盾を探すのは難しかった。今まで評論文に矛盾があるという意識がなかったからだと思う。良い経験だった」と述べていた。そこで、批判的に読む障害は読者がその読み物に矛盾がないと思われることがわかる。芹沢（2004）は以下のように述べている。

(前略) 評論文は人間が、人間の見たことを、人間の立場で書くものであることを考えれば必ずしも矛盾とは言えない表現である。しかし、折角矛盾しているという意見があったのだから、それをもとに、より具体的な指示を与えるべきであった。

このように、有名な筆者が書いた読み物・評論文は、折角矛盾だとしても、矛盾がないと限らないである。つまり、批判的に読むために、読者は有名筆者が書いた読み物・評論文に間違いがないという考えを消す必要があると考えられる。

5. 2 「読み物のテーマと読者の関係」

データ 2

い：また、なんか、人々の考え方も違いますけど、その話題についてよく知らない人は初めて読む人なら、「あっ、そうなんだ。」と思ったとき、もっとなんか、聞く、聞かれるのを難しい。そうなんだって新しい情報あったのに、これから何が間違ってるって聞いたら、ちょっと。

あ：それは自分全然分からない情報ですから、筆者の、えっと、初めて読むときは筆者の、筆者が言ったことをそのままうけるということですね。

い：えー、新しい情報としてをうけたのに、なんか、納得できない部分聞かれるのが難しい。

.....

い：実はなんか、正直に言えば、前学期、今学期のテーマまったくわからないテーマについて異文化コミュニケーションとか、共文化コミュニケーションとか、前は言語学習についてから、私たちにちょっと短な感じ、しかし、今回のテーマまったくわからない部分、なんか、わからない話題についてはっきり知識として無かった話題について話してるから。

あ：え、そうですか。でも、なんか、健君の、例えば、健君の話だったら、それは私たちの生活の周りの行動じゃないですか。

い：行動じゃない、でも、はっきり、よくわからない。

考察

全然わからない話題について読むときはまず全ての情報を受け取るしかないではないだろうか。インタビューされた B は自分とテーマに身近な感じだったら、批判的に読みやすいが、今回のテーマは全く分からない話題だから、批判的に読むにくいということを書いてきた。それに対し、J. Meltzoff が以下のように述べている。

本来の全文論文を手にしとき、経験豊かなクリティカルな読み手はまず論文を流し読みする。それによって、内容の全体的概要を知り、より注意深く読むに値するほど興味深いかどうかを決めることができる。もし読もうと決めたら、論文を十分に焦点化したクリティカルな様式で再読み始める。重要な部分については繰り返し何回か読まなければならなくなる。とくに、文章が曖昧だったり、手軽にアクセスできる詳細さに欠けているときにそうである。

ここには、批判的に読むために、その読み物のテーマに関する知識・興味が必要だと考えられる。インタビューされた B が読み物のテーマについてあまりわからない場合、批判的に読むためにはどうすればいいか。その場合、読者が読解のテーマに関する情報を調べ、知識を得、興味を引き出したほうがいいと考える。インタビューした B が共文化コミュニケーションについてあまりわからないという理由だった。そのため、共文化についての他の読み物を読めば、共文化についての情報を調べれば、そのテーマについての考えが広がり、深く考えられ、今回の読み物を批判的に読めるようになると思われる。つまり、批判的に読むために、その読み物のテーマに関する知識・興味が必要であ

る。その読み物のテーマに関する知識がない場合は情報を調べ、知識を得、興味を引き出すべきだと考える。

5. 3 「自分の視点でみる必要」

データ 1

い：僕はね、こういう授業のときこう、批判的に何を読むとき、自分の考え方を極力避けようと思う、読むときは、読む、僕が話すときは、それは僕の言葉だから、僕の感情が入るんだけど。読むときだけは自分の考え、極力、自分の考え読むじゃなくて、この人は何を言いたいのかという、それを中心読んでるから、だから、僕が納得できない点が見つけないな、見つけれられないかもしれない、その人がいうってることを、そう、その人がいうってることを、と、その根拠はやっぱり、合ってるじゃない。だから、このテーマは、納得できない、というのは僕の視点で、僕の視点で見ないと、納得できない点って見つけない、みつけない、見つけれられないから。

データ 3

あ：えっと、新聞とか普通の一般に読むときに自分の意見とか、「あ、これは自分、私の経験と違うか」そういう思ったことがあります

い：あります。特に、新聞とメディア、記事についても自分の考えも多いですね。特に、その新聞を書く人の視角と自分の視角が全然違います。メーデイの方とか全然認めない、なんかこのような体験もあります。

考察

読者はインタビューされたAのように筆者の立場でみて、筆者の示唆することをわかろうと読むのが少なくない。Aは「読むときだけは自分の考え、極力、自分の考え読むじゃなくて、この人は何を言いたいのかという、それを中心読んでるから、だから、僕が納得できない点が見つけないな、見つけれられないかもしれない」と述べた。ここでは、自分の視点で見ないという自己抑制で筆者の立場に立ってしまい、読むときは筆者の示唆することがわかるが、筆者と異なる意見などが無いということである。しかし、Cは筆者の視角と自分の視覚が違いため、新聞・メディアの記事に対し、批判的に読んだことがある。この例では、批判的に読むために、筆者の立場以外に見て読む必要だということが分かった。批判的に読むためには筆者の立場で見るだけでなく、自分の立場・自分の視点で見て読む必要がある。

5. 4 「批判的に読もうと意識しながら、読解をする」

データ 2

あ：そうですね。でも、なんとなく、できますよね。そのところに、納得できない点は何となく課題の中にえっと、書いてますよね。

い：うーん、筆者のワスカの間違ひを見て、それについてちょっと離さない。

考察

インタビューされたBは筆者の小さな間違ひを見ることと離れないと述べていた。そこで、授業の課題の中に納得できない点という問題を完成するために、筆者の小さな間違ひでも探しながら、読むが、もし、納得できない点という問題を設定しなかったら、たぶん筆者の小さな間違ひでも探さなく、気が付かなく、つまり、筆者が言ったことのままを受け取るかもしれないということがわかる。田中・楠見(2011)は次のように述べている。

使用判断プロセスにはそのときもっている目的やその人がおかれている文脈が影響を及ぼしている(田中・楠見, 2007a)。たとえば、「正しい判断をしたい」という目的を持っているときや、「高価なものを買うとき」や「授業や講演を聴くとき」は

判断的に考えようとする。一方で、「楽しい雰囲気になりたい」という目的を持っているとき、大学生は自分の批判的思考を抑制する傾向がある。これは、日本の大学生が「批判的思考をおこなうと楽しい雰囲気にはできない」というようなメタ認知的知識をもっているためだと考えられる。また、バエイティ番組を見たり小説を読んだりといった娯楽の時間や、恋愛をしたり芸術作品を鑑賞するといった感情や感性が重要な役割を果たす文脈においても、大学生は自分の批判的思考を抑制する傾向にある。このようにある種の目的や文脈の影響によって、ある程度批判的に考える能力をもっているにもかかわらず、そもそも批判的に考えようとしないうという抑制現象がこの使用判断プロセスでは起こりうる。

以上、田中・楠見が「正しい判断をしたい」という目的を持っているときは批判的に考えようとするが、娯楽の時間や感情や感性などが重要な役割を果たす文脈においては大学生が自分の批判的思考を抑制する傾向にあり、このことによって、ある程度批判的に考える能力をもっているにもかかわらず、そもそも批判的に考えようとしないうという抑制現象がこの使用判断プロセスでは起こりうると示唆した。したがって、批判的に読むために、批判的に読もうと意識するのが必要である。これは読者が読解の内容をわかろうと思うことだけでなく、正しく判断する目的、筆者の矛盾・説得力たりない点などを探そうと意識しながら、読むことである。

6. 結論

以上、本稿では先行研究とインタビューのデータから学習者が批判的に読まない理由に基づいて批判的に読むための必要な条件を考察した。その結果、批判的に読むための必要な条件に以下の四点が関係していることが明になった。

まず、批判的に読むために、読者が読み物・筆者に矛盾がないという考えを消さなければならないことである。読者は筆者が矛盾がなく、すべて述べたことを信じ、自分で検討しなく、そのままの情報を受け取ってしまうことを避け、批判的に読むということが必要になる。

それに、読み物のテーマと読者の関係があるかないかの理由で批判的に読めない点になる。読み物と読者の関係がないとはその読解のテーマについて読者が知識・興味がないということであり、批判的に読めなくなる。そこで、批判的に読むためには、読者がその読解について情報などを調べながら、知識を得なければならないということである。

そして、読解しながら、自分の視点で見る必要がある。批判的に読むためには、読者が自分の視点で立って見、筆者が述べていることが適切かどうか、自分で検討するということである。

最後に、批判的に読もうという意識しながら、読解するということである。つまり、批判的に読むために、矛盾・説得力たりない点を探そうと意識し、読むことである。

以上の結論は、批判的に読むための必要な条件には批判的に読む問題が反映されていることを示唆している。情報・ニュースが多くあるが、すべては信用できるものではないため、情報を受け取る前に読者が自分で検討し、批判的に読む必要がある。本稿より得られた知見は、批判的読解による環境教育を育つことを考える際に寄与すると思われる。

しかし、本稿の分析対象は、Academic Reading という授業を受講した三人の学生であり、ほか授業の学生の状況を分析することはできなかった。インタビューされた人が大体批判的に読めないと答えるため、具体的に批判的に読む方法がまだ論じていない。そのため、批判的に読むことの練習する授業を受講する人に具体的に批判的に読む方法を調査する必要がある。この点については今後の課題としたい。

7. 参考文献

- 福澤一吉 (2012)、『文章を論理で読み解くためのクリティカル・リーディング』、NHK 出版新書 P.377
- Julian Meltzoff、『クリティカルシンキング 研究論文篇』、「第1章クリティカルな読み方」、北大路書房、中澤 潤 (2005)、P.14
- 大河内 祐子 (2003)、「批判的読みにおける文章の構造的側面の役割」、P.306
<http://hdl.handle.net/2261/4498> (2014年08月07日検索)
- 芹沢俊介 (2004)、『愛知教育大学ブックレット 環境教育の展開と実践②』、「評論文の批判的読解による環境教育」、愛知教育大学、PP.20, 23
- 田中 優子・楠見 孝 (2011)、「批判的思考の抑制—なぜ発揮されないか」、『批判的思考力を育む』、楠見 孝・子安 増生・道田 泰司、第5章、有斐閣、P.95

インタビュー研究ご協力をお願い

拝啓

私は現在秋田大学教育文化学部において市嶋先生の指導のもと、批判的に読めるための必要条件について調査しております。批判的に読むための必要条件を明らかにするために、**Academic Reading** の授業を受講した学生を研究対象としてインタビューを実施させていただきたいと思います。そこでぜひ一度、批判的に読むための必要条件について実際の考えについて詳細をご教示願えないかと考えております。

インタビューによって得られた個人情報は目的以外に使用することなく、また、私の論文以外に使用することはありませんので、ご理解の程お願い致します。

敬具

秋田大学教育文化学部 日本語・日本文化研修生
ユン・リンダ

2014年5月28日

メールアドレス：lindayun393@gmail.com

.....
私は個人情報が一切公開されず、学問的研究のためにのみ使用されるという条件で、インタビューを録音し、そのデータを使い発表すること許可します。

名前（ ）

今日の日付：